

第5章 基本計画

第5節 多彩で循環性のある持続可能なまち

総合計画改訂 新旧対照表（第5節 多彩で循環性のある持続可能なまち）

現行計画	改訂案
<p>第5節 多彩で循環性のある持続可能なまち 多彩な「まち」になるには、地域資源（もの、ひと、歴史、文化など）の再発見や創出が必要です。個性ある地域をつくり、地域資源が真庭市内で付加価値を付ける「回る経済」の中で「しごと」づくりができていきます。多彩で、ライフスタイルに応じた「しごと」ができる「まち」を目指します。</p>	<p>第5節 多彩で循環性のある持続可能なまち 多彩な「まち」になるには、地域資源（もの、ひと、歴史、文化など）の創出や活用が必要です。個性ある地域をつくり、地域資源に付加価値を付ける「回る経済」で「しごと」づくりができていきます。一人ひとりのライフスタイルに応じた「しごと」ができる多彩な「まち」を目指します。</p>
<p>第1項 多彩な地域の個性を育てる 多彩で豊かな「まち」で、それぞれの市民が、自分にあった生活を実現しています。さらに豊かな生活を実現するために、自然、文化、歴史などの財産を維持保全し、伝承していく必要があります。そして、真庭が誇る美しい里山を舞台に、市内外の「ひと」が交流し、定住へとつなげていきます。</p>	<p>第1項 多彩な地域の個性を育てる 多彩で豊かな「まち」で、それぞれの市民が、自分にあった生活を実現しています。さらに豊かな生活を実現するために、自然、文化、歴史などの財産を維持保全し、承継していく必要があります。そして、真庭が誇る美しい里山を舞台に、市内外の「ひと」が交流し、地域や地域の人々と継続的に多様な形で関わる関係人口を増やし、定住へとつなげていきます。</p>
現状と課題	
<p>●移住・定住の促進 急速な人口減少と高齢化が進んでおり、人口の年齢構成を安定化し、持続可能な市の経営を行うことが最重要課題です。市内外に対するPR不足や移住者を積極的に受け入れる意識も低調で、移住・定住が進んでいません。</p>	<p>削除 高齢化と急速な人口減少が進む現状において、バランスの取れた年齢構成を実現し、持続可能な市の経営を行うことが最重要課題です。市内外に対するPRや移住者を受け入れる意識の不足により、移住・定住が進んでいません。また、真庭市で育った若者のUターンも進んでいません。</p>
<p>●地域主体・地域特性・地域資源の活用と情報発信 歴史、文化などによる地域のつながりや個性、恵まれた自然環境などの価値や外部からの評価が、十分に市民に知られていないことも多く、資源やつながりを生かした連携や付加価値をつけていく循環が進んでいません。また、まちぐるみの情報発信体制や意識が弱く、地域の魅力を市外へ十分に発信できていません。</p>	<p>削除 歴史・文化などによる地域のつながりや恵まれた自然環境などの価値、また外部からの高い評価などが、十分に市民に知られていないことも多く、資源やつながりを活かした連携や付加価値をの創造が進んでいません。また、まちぐるみの情報発信体制や意識が弱く、地域の魅力を市外へ十分に発信できていません。</p>
<p>●自然環境と里山風景</p>	<p>削除</p>
施策の方向性と目標	
<p>■ 交流定住センターを充実し、地域住民の思いと移住・定住者をつなぎ、受け入れる環境を育てることに日常的に取り組む人材を確保し、市外からの移住者を地域ぐるみで支援していきます。 ■ 就業や教育・子育て支援の充実、ライフスタイルの提案など、生活の魅力を向上させ、流出人口の減少を図るとともに交流人口の増加から定住へとつなげていきます。</p>	<p>●移住・定住の促進（関係人口） ■ 交流定住センターを充実し、地域住民の思いと移住・定住者をつなぎ、受け入れる環境を育てることに日常的に取り組み、関係人口を増やし、移住者には地域ぐるみで支援していきます。 ■ 就業や教育・子育て支援の充実、ライフスタイルの提案など、生活の魅力を向上させ、流出人口の減少を図るとともに関係人口の増加から定住へとつなげていきます。 ■ 高校卒業後に真庭へ残ることを希望する若者やUターンを希望する若者を増やすために、生活しやすい環境（奨学金、市内での就職支援等）を整えます。</p>

現行計画			改訂案		
<p>■ 真庭市の自然、歴史、文化などを見つめ直し、維持保全し、伝承し、地域資源を生かした魅力的なライフスタイルを提案していきます。</p> <p>■ 「ひと」と「ひと」、地域と地域の交流により、互いの魅力を認め合うことで、各地域にあった魅力的なライフスタイルが市民の手でつくられていくよう支援します。</p> <p>■ 地域資源を見つめ直し、「掘り起こし（発掘・創出）」や「磨き」「連携（組み合わせ）」により、地域の活性化を進めます。</p> <p>■ 地域の強みや誇りなどの情報を集め、真庭市の生活の魅力として発信します。</p> <p>■ 「ひと」と「市役所」が、交流や連携を通じ真庭市への誇りや愛情を持ち、一体となってさまざまなメディアを活用した情報発信に取り組みます。</p>			<p>● 地域主体・地域特性・地域資源の活用と情報発信（「回る経済」との連携）</p> <p>■ 真庭市の自然、歴史、文化などを見つめ直し、維持保全し、伝承し、地域資源を活かした魅力的なライフスタイルを提案していきます。</p> <p>■ 「ひと」と「ひと」、地域と地域の交流により、互いの魅力を認め合うことで、各地域にあった魅力的なライフスタイルが市民の手でつくられていくよう支援します。</p> <p>■ 地域資源を見つめ直し、「掘り起こし（発掘・創出）」や「磨き」「連携（組み合わせ）」により、地域の活性化を進めます。</p> <p>■ 地域の強みや誇りなどの情報を集め、真庭市の生活の魅力として発信します。</p> <p>■ 「ひと」と「市役所」が、交流や連携を通じ真庭市への誇りや愛情を持ち、一体となってさまざまなメディアを活用した情報発信に取り組みます。</p> <p>■ 地域資源をより有効に活かすため、民間企業とのパートナーシップを構築し、持続的な経済活動の支援に取り組みます。</p>		
<p>■ 自然環境や里山風景を将来に継承していくため、里山の担い手を育成していきます。</p>			<p>● 自然環境と里山風景の継承と再生</p> <p>■ 自然環境や里山風景を将来に継承し、活かしていくためのESDを踏まえた里山保全の担い手育成を行います。</p> <p>■ 環境をコンセプトの柱とした新たなブランド構築により、都市住民や企業との経済交流につなげていきます。</p>		
ひと					
			● 地域や地域の人々と継続的に多様な形で関わる人（関係人口）を受け入れる		
			● 真庭に愛着を持つ若者を大切にする		
● 人と自然の関わり方を意識し、環境負担の低い 生活を模索 する			● 人と自然の関わり方を意識し、 生活の中で 環境負担の低い賢い選択を行う		
まち					
市役所					
			● 真庭に愛着を持つ若者を支援する		
● 地域特性を 生かした 施策を実施する			● 地域特性を 活かした 施策を実施する		
実施のための政策体系					
教育振興基本計画	文化振興計画		教育振興基本計画	文化芸術推進計画	
交流定住推進計画	広聴広報基本計画（仮称）	シティプロモーション計画	交流定住推進計画	広聴広報基本計画	シティプロモーション計画
				情報化計画	
経済産業ビジョン（仮称）	森林整備計画		経済産業ビジョン	森林整備計画	
	観光振興計画			観光振興計画	観光戦略
				農業振興地域整備計画書	

現行計画	改訂案
第2項 地域資源を 生かした 「回る経済」を確立する	第2項 地域資源を 活かした 「回る経済」を確立する
現状と課題	
<p>●経済産業ビジョン（仮称）の策定</p> <p>真庭市の経済産業の全体像と可能性、方向性を示し、将来戦略を市内全体で共有しながら、効果的で効率的な施策の連携を行っていく必要があります。移住定住や市外企業の誘致、地域産業に対する的確な支援や働きかけ、水道や道路などの社会資本整備、雇用や起業促進などの就業環境整備を進めるためにも「経済産業」に関する基本方針・ビジョンの確立が急務となっています。</p>	<p>削除</p> <p>真庭市の経済産業の全体像と可能性、方向性を示し、将来戦略を市内全体で共有しながら、効果的で効率的な施策の連携を行っていく必要があります。移住定住や市外企業の誘致、地域産業に対する的確な支援や働きかけ、光ケーブルや水道、道路などの社会資本整備、雇用や起業促進などの就業環境整備を進めるためにも「経済産業」に関する基本方針・ビジョンの実体化が求められます。</p>
<p>●循環性・自給性のある経済、地域資源の活用</p> <p>地域で生産された「モノ（農林畜産物や工業製品など）」を市外に回し「域内所得」を増やす仕組みとあわせて、地域内で回し付加価値を付ける仕組みと「カネ」を回す動きが全般に弱い面があります。また、生産される「モノ」自体も固定化し、市内の消費活動が停滞しています。現在、バイオマス発電など地域資源を生かした長期的な取り組みが成果を生み始めています。地域の強みを生かした次世代の活力につながる産業育成をすることが課題です。</p> <p>また、農林畜産業は、産業構造の変化や高齢化による担い手の減少などにより、産業としての力、生業・就業の受け皿としての基盤が弱体化してきました。さらに、農用地や山林の手入れが滞り、里山としての自然・生活環境の保全や地域文化の継承が困難になりつつあります。</p>	<p>削除</p> <p>地域で生産された「モノ（農林畜産物や工業製品など）」を市外に回し「地域総生産額」を増やす仕組みとあわせて、地域内で回し付加価値を増す仕組みと「カネ」を回す動きが全般に弱い面があります。また、生産される「モノ」自体も固定化し、市内の消費活動が停滞しています。現在、バイオマス発電など地域資源を活かした長期的な取り組みが成果を生んでいます。地域の強みを活かした次世代の活力につながる産業を育成することが課題です。</p> <p>また、農林畜産業は、産業構造の変化や高齢化による担い手の減少などにより、産業としての力、生業・就業の受け皿としての基盤が弱体化してきました。さらに、農用地や山林の手入れが滞り、里山資源としての自然・生活環境の保全や地域文化の継承も困難になりつつあります。</p>
<p>●雇用・起業・CB（コミュニティビジネス）SB（ソーシャルビジネス）など魅力ある「しごと」づくり</p> <p>高齢化と若年層の流出が進み、年齢やスキル、職種など企業の求人条件と市内の人材-求職者とのアンマッチも見られ、人材育成も含めた総合的な雇用環境整備が必要です。地域産業では、後継者不在などによる店舗数や事業所数の減少が進行する一方で、個人の起業や小さな商い、地域貢献や「つとめ」の「しごと化」がまだまだ不十分でCBSBの起業が少なく、地域の停滞につながりつつあります。</p>	<p>削除</p> <p>高齢化と若年層人口の流出が進み、地場企業の求人条件と市内の求職者とのアンマッチも見られ、人材育成も含めた総合的な雇用環境整備が必要です。地域産業では、後継者不在などによる店舗や事業所の数が減少する一方で、小さな商い、地域貢献や「つとめ」の「しごと化」がまだまだ不十分でCB（コミュニティビジネス）SB（ソーシャルビジネス）の起業も少なく、地域の停滞につながりつつあります。</p>
<p>●「ワーク・ライフ・バランス」・就業環境の整備</p> <p>だれもが生きがいを持って働き、生み育て、生活を維持していくためには、「仕事」の持つ経済的基盤と豊かなライフスタイル実現の二つの価値をみんなが認め合い、実現できる環境づくりが必要です。特に、女性や熟年者、障がい者などだれもがそれぞれの状況やライフスタイルに応じた働き方のできる就業環境の整備が遅れています。</p>	<p>削除</p> <p>誰もが生きがいを持って働き、生み育て、生活を維持していくためには、経済的基盤である「仕事」と豊かなライフスタイル実現の双方の価値をみんなが認め合い、実現できる環境づくりが必要です。特に、女性や熟年者、障がい者などだれもがそれぞれの状況やライフスタイルに応じた働き方のできる就業環境の整備が遅れています。</p> <p>一方、情報技術分野の発達により、地方と都市との距離が縮まっていることから、スキルや知識があれば仕事を持つことが可能になりました。</p> <p>特にポストコロナの時代ではテレワークが進み、田舎の住環境は大きな強みとなりつつあります。</p>

現行計画	改訂案
<p>施策の方向性と目標</p>	<p>●経済産業ビジョンの活用</p>
<p>■ 真庭市の地域資源や文化の現状の強み弱みを分析し、真庭市に適している経済産業の方向性や将来の経済産業をつくる戦略を示すものとして、市民とともに「経済産業ビジョン（仮称）」を策定します。</p>	<p>■ 真庭市の地域資源や文化の現状と強み弱みを分析し、真庭市に適している経済産業の方向性や将来の経済産業をつくる戦略を示すものとして、市民とともに「経済産業ビジョン」を改定します。</p>
<p>■ 原木の製材加工とバイオマス発電、液肥化施設、農業の6次産業化のように、市内で生産された地域資源を組み合わせ付加価値を付け、市内外で「モノ」と「カネ」が「回る経済」をつくります。</p>	<p>●循環性・自給性のある経済、地域資源の活用</p>
<p>■ 市内消費の受け皿、市外からの来訪者の消費の獲得に必要な商業地として中心市街地の形成と地域生活に必要な地域拠点の整備を市民協働で進めます。</p> <p>■ 伝統的産業の継承や新しい伝統の創出を支える仕組みづくりに取り組む地域や事業者を支援します。</p> <p>■ 食料やエネルギーなどの高い自給率や豊かな地域資源、多彩性といった真庭市の強みを生かし、次世代につながる地域経済の連携と新たな産業づくりを進めます。</p> <p>■ 地域資源と独自性が生かせる産業の育成のため、地域と事業者、大学など研究機関との連携をさまざまな形で進めます。</p> <p>■ 地域内のエネルギー自給を目指すとともに、再生可能エネルギーを活用した産業づくりについて研究を始めます。</p> <p>■ 重要な基幹産業である農林畜産業の基盤強化と里山の生活文化を守るため、法人化支援や市内の加工技術の進化による6次産業化、それに関連する就業や人的ネットワークづくり、真庭市場など出口確保体制づくりを支援します。</p> <p>■ 農林畜産物や景観、文化、伝統などの地域資源を組み合わせた新しい観光の取り組みを支援し、「回る経済」の中の産業として強化します。</p>	<p>■ 原木の製材加工とバイオマス発電、液肥化施設、農業の6次産業化のように、市内で生産される地域資源を組み合わせ付加価値を付け、市内外で「モノ」と「カネ」が「回る経済」をつくるとともに、地域生産額を上げていきます。</p> <p>■ 市内外消費の獲得に必要な商業地の形成と地域生活に必要な拠点整備を市民協働で進めます。</p> <p>■ 市内循環経済を活性化する地産地消や域内消費を増やすための商業振興と合わせて、地域通貨を課題解決の方策として、その有効性を検証します。</p> <p>■ 伝統的産業の継承や新しい産業の創出を支える仕組みづくりに取り組む地域や事業者を支援します。</p> <p>■ 食料やエネルギーなどの高い自給率や豊かな地域資源、多彩性といった真庭市の強みを活かし、次世代につながる地域経済の連携と新たな産業づくりを進めます。</p> <p>■ 地域資源と独自性が活かせる産業の育成のため、地域と事業者、大学など研究機関との連携をさまざまな形で進めます。</p> <p>■ 地域内のエネルギー自給率100%を目指すとともに、再生可能エネルギーを活用した産業づくりについて研究を始めます。</p> <p>■ 重要な基幹産業である農林畜産業の基盤強化と里山の生活文化を守るため、法人化支援や市内の加工技術の進化による6次産業化、それに関連する就業や人的ネットワークづくり、真庭市場など販路確保・開拓を支援します。</p> <p>■ 農林畜産物や景観、文化、伝統などの地域資源を組み合わせた新しい観光産業の取り組みを支援し、「回る経済」の中の産業として強化します。</p>
<p>■ 雇用のアンマッチを解消するため、人材育成の支援、就業体験の機会や情報の提供を積極的に行います。</p>	<p>●雇用・起業・CB（コミュニティビジネス）/SB（ソーシャルビジネス）など魅力ある「しごと」づくり（「地域づくり」との連携）</p>
<p>■ 地域資源やそれぞれの個性・能力を生かした起業や「しごと」をしたい意欲を実現するために、人的支援、融資制度などの情報提供を進めます。</p> <p>■ 若い人にとって魅力的で熟年者には生きがいの感じられる「しごと」のある「まち」づくりを進めます。</p> <p>■ 地域通貨など、市の経営への参画や地域貢献を評価し次の地域活動へと「つとめ」が連携・循環し、「つながり」が生まれ育てる仕組みを市民と一緒につくっていきます。</p>	<p>■ 雇用のアンマッチを解消するため、人材育成の支援、就業体験の機会や情報の提供を積極的に行います。</p> <p>■ 地域資源やそれぞれの個性・能力を活かした起業や「しごと」をしたい意欲を実現するために、人的支援、融資制度などの情報提供を進めます。</p> <p>■ 若い人や女性にとって魅力的で熟年者には生きがいの感じられる「しごと」のある「まち」づくりを進めます。</p> <p>■ 医療、福祉の分野に目を向けて、農福連携など熟年者や障がい者にとって働きがいのある「しごと」づくりを進めます。</p> <p>■ 地域通貨など、市の経営への参画や地域貢献を評価し次の地域活動へと「つとめ」が連携・循環し、「つながり」が生まれ育てる仕組みを市民と一緒につくっていきます。</p>

現行計画		改訂案	
<p>■「生み・育てること」を安心して選び実現するためには、ライフステージに応じた就業に対する理解と支援が必要です。特に、女性の就業や子育て家庭に対する理解を進め、地域や職場だけでなく「まち」全体での支援体制をつくっていきます。</p> <p>■ライフスタイルやライフステージ、状況などに合わせた多様な働き方ができるよう、フルタイムやパートタイムといった従来型の働き方だけでなく、一時的な時短勤務や休業、複数の就業を前提とした働き方（半農半Xなど）ができる環境を、事業者や就業者と一緒に考えつくっていきます。</p> <p>■「だれもが働くこと（熟年者、女性、障がい者、外国人など）」の理解を深め、賃金や福利厚生も含めた就業環境の質を事業者や市民とともに向上させていきます。</p>		<p>●「ワーク・ライフ・バランス」・就業環境の整備</p> <p>■「生み・育てること」を安心して選び実現するためには、ライフステージに応じた就業に対する理解と支援が必要です。特に、女性の就業や子育て家庭に対する理解を進め、地域や職場だけでなく「まち」全体での支援体制をつくっていきます。</p> <p>■ライフスタイルやライフステージ、状況などに合わせた多様な働き方ができるよう、フルタイムやパートタイムといった従来型の働き方だけでなく、一時的な時短勤務や休業、複数の就業を前提とした働き方（半農半Xなど）ができる環境を、事業者や就業者と一緒に考えつくっていきます。また、テレワークなど時代に合った働き方を推進します。</p> <p>■「誰もが働くこと（熟年者、女性、障がい者、外国人など）」の理解を深め、賃金や福利厚生も含めた就業環境の質を高め、真の共生社会の実現を進めます。</p> <p>■農福連携やエッセンシャルワークの待遇改善など、誇りとライフスタイルの実現のための雇用労働政策に可能な範囲で取り組みます。</p> <p>■ディーセントワークとワークライフバランスの実践のため、特に女性の働く場の拡大と処遇改善を事業者に働きかけます。</p>	
ひとまち		ひとまち	
●地域通貨による「回る経済」の仕組みをつくる		●地域通貨による「回る経済」について検証調査する	
●性差や障がいの有無などに関係なく、「しごと」ができる就業環境をつくる		●性差や障がいの有無、年齢などに関係なく、「しごと」ができる就業環境をつくる	
市役所		市役所	
●だれもが「しごと」をしやすい環境づくりを支援する		●誰もが「しごと」をしやすい環境づくりを支援する	
実施のための政策体系		実施のための政策体系	
経済産業ビジョン（仮称）	農業振興地域計画書	経済産業ビジョン	農業振興地域整備計画書